

こんにちは 野々市市議会です



「蝶とお花畑」

作者：野々市市立野々市中学校2年生 大島 梓さん

12月定例会議案審議・議決結果一覧2P
各委員会の主な質問と答弁3P
視察報告3P
12月定例会一般質問 10人が登壇5P
土田友雄議員に対する議員辞職勧告決議15P
3月定例会日程16P

令和4年度一般会計補正予算 令和4年4月以降に出産された方に 計10万円を給付する事業などに 6億6,453万9千円を追加

令和4年第6回12月定例会は、12月2日から22日まで開かれました。
令和4年度一般会計補正予算や野々市市郷土資料館の一部の無償貸付など議案15件が市長から、決議案1件と意見書提出に関する議案2件が議会から提出され、すべての議案を全員一致で可決しました。また、人権擁護委員の候補者推薦の人事案件1件を全員一致で適任としました。請願1件については、賛成少数で不採択としました。
令和4年度一般会計補正予算には、「出産・子育て応援ギフト」として令和4年4月以降に出産された方に妊娠届出時と出生届出後を合わせて10万円を給付する事業に係る予算9,612万7千円や、市営墓地公園「メモリアルパークののいち」の区画拡張に伴う設計・工事に係る予算1,288万4千円などが計上されています。



議 決 結 果 一 覧

議 案 名		議 決 日	議 決 結 果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第61号	令和4年度野々市市一般会計補正予算（第6号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和4年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第63号	令和4年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第64号	令和4年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第65号	令和4年度野々市市墓地特別会計補正予算（第1号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第66号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第67号	野々市市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第68号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第69号	野々市市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第70号	野々市市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第71号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第72号	職員の降給に関する条例について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第73号	財産の無償貸付について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第74号	市道路線の認定について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第75号	令和4年度野々市市一般会計補正予算（第7号）について	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	12月2日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第7号	北朝鮮によるミサイル発射及び核開発に抗議する決議	12月12日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第8号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第9号	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	12月22日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
請願第1号	国に対し、「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願	12月22日	不 採 択	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

12月15・16・21・22日の4日間

Q 市営墓地公園「メモリアルパークののいち」の一次募集の申込状況と、墓石型の区画拡張に伴う二次募集のスケジュールは。

A 一次募集の申込件数は、壁型107件、芝生型139件、墓石型167件、納骨堂176件、樹林型297件。二次募集については、墓石型は新たな区画の整備が完了次第、そのほかの区画は令和5年1月下旬ごろに案内を開始したい。

Q 出産・子育て応援事業について、多胎（双子、三つ子など）の場合の給付額と、すでに出産した人は申請が必要なのか。

A 妊娠届出時は5万円、出生届出後は新生児1人につき5万円を給付する。令和4年4月以降に出産した人に対し、市から申請書を送り、申請を促す。

Q 野々市市郷土資料館の一部を無償で貸し付ける相手方の主たる事業内容やまちづくり事業の実

績の有無と、建物の使い方は。

A 貸付の相手方は建設コンサルタント業務を主たる事業としており、白山市内の温浴施設の運営実績を持っている。旧魚住家住宅の部分は市指定有形文化財のため改修は認めていないが、展示室の部分は市と協議のうえ改修を認める。



野々市市郷土資料館

人 事

人権擁護委員

松野 俊一（三日市一丁目）

視察報告

総務産業常任委員会

10月31日から11月2日まで、行政視察を行いました。
◎早川、小堀、馬場、安原、土田、大東、岩見、中村

香川県善通寺市・讃岐もち麦ダイシモチ「地域ブランド化に向けた取り組み」

ダイシモチは、地元産という物語性があり、作付けに適した風土・日本有数の精麦会社の存在があります。ダイシモチは、ビタミン・鉄分等や、糖尿病に有効とされる成分も含まれ、全国に向け販路拡大中です。

愛媛県八幡浜市・移住・定住支援策
愛媛県の最も西方に位置し、人口減少が大きな課題で、市では移住・体験希望者には交通費・宿泊費を補助しています。さらにUターンや若手を対象に支援を強化しています。

愛媛県西条市・「住みたい田舎ベストランキング」全国第1位の理由

愛媛県の東部に位置し、人口減少の対策として、移住・定住者の増加に向けた地方創生を始めました。この取り組みにより、全国住みたい田舎ベストランキングで、全部門第1位を獲得しました。また、経費が全て

無料でオーダーメイドの移住体験ツアーを開催し、これまで1,100人以上の定住者実績があります。

愛媛県大洲市・大洲ええモンセクション認定制度

大洲芋などの特産物を「大洲ええモンセクション」として認定し、令和4年で総数61品目・28事業者にもなっています。市は常に商品と認定システムのブラッシュアップを重ねています。

4市共に、移住・定住者を増やす努力をしている姿を感じました。





大東 和美 議員
(公明)

伴走型子育て支援について さらに妊娠8か月頃の面談を

すでに妊娠5か月から8か月を対象 プレママパプラスを開催

- Q** 伴走型子育て支援の相談支援としては母子健康手帳の交付時と出生届時、さらには、妊娠後期における面談を国は求めています。本市の現状と課題について伺います。
- A** 健康福祉部長 ● 今後、新たに妊娠8か月頃の妊婦への支援で、出産や産後の生活への不安等にも応えられるよう実施内容や方法等について具体的に検討している。
- Q** 妊婦一般健康診査 無料回数拡大へ
- Q** 現在は14回に限定されています。必要な妊婦に回数を拡大してはどうか。
- A** 市長 ● 多胎児や出産予定日の超過などにより14回を超える場合もあり、安心して受診できるように助成を拡大することで、妊婦の不安解消に努めたい。
- Q** 伴走型子育て支援の経済的支援について、今年度ほどのように対応するのか、また来年度以降はどのような方針で対応するのか伺います。
- A** 市長 ● 令和4年度中の迅速な支援として現金で支給す

*参考資料

宿泊型 1泊2日2万円
デイ型 1日3千円（産科医院）
6千6百円（助産院）

- Q** 産後安心ヘルパー派遣事業や産後ケア事業における現状と課題について伺います。
- A** 健康福祉部長 ● 産後安心ヘルパー派遣事業の利用者は令和2年度10人、3年度6人、4年度10月末7人。課題としては事業所が2か所のため利用者が希望する時間帯に意向に沿えない場合がある。産後ケア事業はデイサービス型の利用者が令和2年度2人、3年度1人、4年度11月末時点で申請者2人、うち利用者1人。
- 課題は利用者負担額が高額であることや、委託先によっては自院で出産した人のみの利用に限られること。

物価高騰に対する子育て世帯 支援策について

- Q** 時限的にでも子ども医療費の自己負担額をゼロ円としてはどうか。またはそれに代わる支援策について伺います。
- A** 市長 ● 令和5年度中の「完全無償化」に向け、準備を進める。

9価HPVワクチンの定期接種 化に伴う本市の対応について

- Q** 特に対象となる方への周知方法について伺います。
- A** 健康福祉部長 ● 9価HPVワクチンの定期接種化は、令和5年4月1日から開始する。実施内容についての詳細が分かり次第、市のホームページや広報をはじめ、LINE、フェイスブック等のSNSを活用し、広く周知するとともに、対象者には、接種券と併せ、2価及び4価ワクチンのほか、9価ワクチンも定期接種の対象となることについてお知らせを同封する予定。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/IXSyjW39Gr0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

視察報告

議会運営委員会

11月8日～10日、行政調査視察を行いました。

◎馬場、◎北村、辻、早川、土田、中村

「災害時における議会の対応」

大阪府箕面市議会では、災害発生時対応マニュアルを策定しています。非常時に議会運営の判断をスムーズにすることで議会機能を維持し、市政運営に支障を来さないようにするためです。災害時においても議決しなければならぬ議案の有無を確認し、会議場所の確保やマニュアルに沿って議員が行動する仕組みが示されています。また、大阪府枚方市議会では、業務継続計画を策定しており、市議会災害対策連絡会議を設置することで、市対策本部からの情報収集と議員からの災害情報を双方向で整理して対応することが示されています。本市議会においても、災害時に議会対応が可能ないように野々市版の仕組みを整える必要性を改めて強く認識いたしました。

「オンラインでの委員会運営」

大阪府箕面市議会、枚方市議会



ともに、オンラインでの委員会運営を行っています。災害発生時や感染症発生時に対応するためです。実際の委員会室において機材を用いて、運営の仕組みと具体的な方法について研修させていただきました。タブレット端末とPCを併用し、十分対応可能であることが理解できました。オンラインによる委員会の出席については、関係例規として、委員会条例と会議規則、議会規定の改正が必要であり、条文内容についても学びました。運営に関する課題についても説明を受け、本市議会での実現可能性について理解を深めました。

また、大阪府八尾市議会では、大学連携について、兵庫県塚本市のT O A株式会社では、次世代の会議システム（音響や会議録作成）について、調査視察いたしました。

議会改革・ 活性化特別委員会

◎西本、◎馬場、安原、杉林、早川、大東、岩見、中村

11月17日 愛知県名古屋市議会

岩倉市議会は議会改革度調査2021総合ランキング9位です。議会サポーター制度は、年に8回のサポーターとの意見交換会で、議会に対する様々な意見を聴取する制度です。サポーターは公募や継続の方を含めて20人前後で構成されます。

議会報告会は年2回実施していますが、現在はコロナ禍の影響からホームページで報告しているということでした。

ふれあいトーク（意見交換会）では、商工会や市民活動団体、農業委員会などと活発な意見交換をすることで、より多くの市民の声を聴取しています。特筆すべきは、意見交換会の場所に出向いてもらうのではなく、各種団体の会議の場などに、議員自らが出向いていることです。このことは、今後、野々市市議会でも実践すべき取組であると痛感しました。

11月18日 三重県いなべ市議会

いなべ市議会は議会改革度調査2021総合ランキング39位で、インターネット議会報告会の素晴らしい出来栄に感服しました。

また、議会検証評価特別委員会を設置し、毎年、全議員に議会基本条例に係る自己評価を義務付け評価していることに驚きました。そして、行政に対しても主要な施策の事業評価を行い、議会としての行政のチェック機能を具体的に実践していることに感服しました。ただ、行政の詳細な情報開示などの協力があるからこそできる取組であると感じました。いなべ市議会の取組には、市議会議員の本来的な姿を教えられた感じがします。一刻も早く、野々市市議会もこのレベルに到達しなければならぬという、焦りさえ感じさせられました。





北村 大助 議員
(野々市フォーラム)

野々市消防署の役割業務や将来を鑑みると手狭で不十分ではないか

現施設では今後、不十分と考えている

Q 現在の野々市消防署が担っている役割業務や将来を鑑みると、現在の敷地面積及び建物面積では手狭で不十分と考えますが、見解を伺う。

A 市長 ●現在の野々市消防署は、野々市中央通りの拡幅工事に合わせ、白山野々市広域事務組合において現在地での建て替え工事が進められ、平成12年2月に竣工し、以来21年が経過しました。白山野々市広域事務組合が所管しています。野々市消防署を含めた8つの消防署は管内17万人余りの安心安全のため、管内全体の消防力の確保を図るべく計画的に整備を行ってきました。野々市消防署であります。施設竣工後における本市の人口増加に伴い、救急件数が増加しているという現状から、施設機能の拡充も含め消防体制を強化するため、今後どのような体制が良いのか、消防本部において事務的に検討を致しております。そうした検討の中で、将来の人口分布も踏まえ、適切な施設整備が計画的に行われるものと理解しております。救急件数の伸び、万一の火

A 市長 ●「政治は人を幸せにすること、光の当たらないうちに光を当てること」、この言葉を申し上げ、これまでの思いを胸にしながら、政治に関わることを仕事として続けてまいりました。皆様と

Q 引き続き市政の舵取り役として取り組む思いがあるのか、具体的に部局別分野ごとに伺う。

政治的信条と次期市政を担う決意について



災対応、消防職員の職場環境の向上を考えますと、現施設では今後、不十分と考えています。白山野々市広域事務組合と緊密に連携を図り、野々市市民にとって最善の方策となるように努力を致します。

共に、さらに本市の価値を高めることにより、「住んでみたい」「住んで良かった」として「住み続けたい」と思える野々市市をこれからも目指してまいりたいと思っています。議会の皆様方、市民の皆様のご理解を得られることができましたら、引き続き市政の舵取りを、全身全霊をかけて取り組ませていただきたいと思います。将来都市像の実現に向けて、部局別に力を入れてまいりたい政策についてでございますが、総務部ではDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、地域政策部では地域資源の発信に加え、カーボンニュートラルや温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを進めながら、経済成長も実現させるGX（グリーン・トランスフォーメーション）について具体的な施策の検討をしてまいります。健康福祉部では施設整備を含めた子育て環境の充実、建設部では、中央公園拡張整備事業に伴う体育施設の整備でございます。これらの政策実現に向けては、部局を超えた全庁的なワーキンググループによる検討、さらには大学・企業とも積極的に連携をとりながら進めてまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/ILlv77wCDiM>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



安原 透 議員
(野々市フォーラム)

市内AEDについて市HPに施設内の設置場所等、わかりやすい表示に努めよ

本市HPにおいて、使用できる時間帯や設置場所においても表示が必要と考えており、より詳細な情報を提供していきたい

Q 閉館時にAEDが使用できる施設があるか、また、24時間使用できる施設があるか伺う。

A 健康福祉部長 ●施設閉館時においてもAEDの使用が可能な市施設については、設置してあるAEDのほとんどが施設内に設置されていることから、使用できる時間帯は開館時間内に限られている。その中で、警備員が常駐してい

A 健康福祉部長 ●市が所有するAEDについて、現在貸出しは行っており、これまでも貸出しは行っており、これまで

しは行っており、これまで

自動体外式除細動器（AED）について

Q 閉館時にAEDが使用できる施設があるか、また、24時間使用できる施設があるか伺う。

A 健康福祉部長 ●施設閉館時においてもAEDの使用が可能な市施設については、設置してあるAEDのほとんどが施設内に設置されていることから、使用できる時間帯は開館時間内に限られている。その中で、警備員が常駐してい

Q 市民の皆様へのAEDの貸出し実績について伺う。AEDの貸し出しについて周知し、積極的に貸出をおこなってはいかがか。

Q JR野々市駅の更なる利用促進について、また本市玄関口としての役割及び今後のあり方についての方策を伺う。

A 健康福祉部長 ●本市HPに掲載している54か所のAED設置施設については、使用できる時間帯や設置場所についても表示が必要であると考えており、より詳細な情報が提供できるよう、現在準備を進めている。同様に、9か所の認定こども園や放課後児童クラブといった市に関連する民間施設についても詳細を掲載していきたい。

A 市長 ●2024年春の北陸新幹線県内全線開業に合わせ、いしかわ並行在来線金沢以西延伸対策検討会が先般開催された。JRからの経営分離後の在り方を協議するというところで、会議では、並行在来線の利用促進と共に、地域住民や駅を中心としたまちづくりを進めることが並行在来線の活用促進につながることを確認した。まずは公共交通機関を利用される方を増やしていく必要があると考えており、関係機関、関係者と連携を取って、さらなる利用促進につなげてまいりたい。また関係団体へイベントなどの開催ができないか働きかけを行ってまいりたい。

Q 総合防災訓練での計画4年目の状況と成果、そして最終年に向けた課題、避難行動要支援者個別計画名簿完成への道筋を伺う。

Q 緊急時に本市HP情報から最短時間でAEDにたどり着く為に設置施設名、設置場所、使用出来る時間帯等、実際の活用を考え、「施設内のどこにあるのか」を表示していただきたい。

Q JR野々市駅の更なる利用促進について、また本市玄関口としての役割及び今後のあり方についての方策を伺う。

Q 総合防災訓練での計画4年目の状況と成果、そして最終年に向けた課題、避難行動要支援者個別計画名簿完成への道筋を伺う。

Q 緊急時に本市HP情報から最短時間でAEDにたどり着く為に設置施設名、設置場所、使用出来る時間帯等、実際の活用を考え、「施設内のどこにあるのか」を表示していただきたい。

Q JR野々市駅の更なる利用促進について、また本市玄関口としての役割及び今後のあり方についての方策を伺う。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/jNHpJ2nZZRk>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員
(野々市フォーラム)

若手消防分団員確保に向けて、土日の休日に 無償で保育をする保育園・幼稚園を確保せよ

団員の負担軽減と待遇改善に努めており休日保育の実施に
についても、団員確保のための方策として、調査研究していく

Q 富陽小学校のビオトープに関する件
雑草が生茂り荒れはてたビオトープを手入れ復元して、富陽小学校の児童たちが「生物観察や憩いの場」とする考えはないか。維持管理を「石川県立大学ビオトープ研究会」やPTA及び地域の皆さんに相談しては如何か。

A 建設部長 ● 現在、管理は市が行っており、年に一度、「ふれあい広場」の雑草や樹木の剪定などを実施しております。ただし、ビオトープの部分につきましては、なるべく「一人の手を入れない」という方針に基づき、「自然のまま」の状態にしております。しかしながら、議員ご指摘のとおり、水路内には落葉や泥が堆積するとともに、生茂った雑草が水の流れを妨げるなど、良好な水辺環境とは言えない状況となっております。また、水路の一部に破損も見られることから、修繕と併せて、良好な状態に改善していきたいと思っております。今後の維持管理については、改めて、PTAをはじめとした団体と協議してまいりたいと考えています。

Q 富陽小学校のビオトープに関する件
雑草が生茂り荒れはてたビオトープを手入れ復元して、富陽小学校の児童たちが「生物観察や憩いの場」とする考えはないか。維持管理を「石川県立大学ビオトープ研究会」やPTA及び地域の皆さんに相談しては如何か。

A 建設部長 ● 現在、管理は市が行っており、年に一度、「ふれあい広場」の雑草や樹木の剪定などを実施しております。ただし、ビオトープの部分につきましては、なるべく「一人の手を入れない」という方針に基づき、「自然のまま」の状態にしております。しかしながら、議員ご指摘のとおり、水路内には落葉や泥が堆積するとともに、生茂った雑草が水の流れを妨げるなど、良好な水辺環境とは言えない状況となっております。また、水路の一部に破損も見られることから、修繕と併せて、良好な状態に改善していきたいと思っております。今後の維持管理については、改めて、PTAをはじめとした団体と協議してまいりたいと考えています。

Q 富陽小学校のビオトープに関する件
雑草が生茂り荒れはてたビオトープを手入れ復元して、富陽小学校の児童たちが「生物観察や憩いの場」とする考えはないか。維持管理を「石川県立大学ビオトープ研究会」やPTA及び地域の皆さんに相談しては如何か。

A 建設部長 ● 現在、管理は市が行っており、年に一度、「ふれあい広場」の雑草や樹木の剪定などを実施しております。ただし、ビオトープの部分につきましては、なるべく「一人の手を入れない」という方針に基づき、「自然のまま」の状態にしております。しかしながら、議員ご指摘のとおり、水路内には落葉や泥が堆積するとともに、生茂った雑草が水の流れを妨げるなど、良好な水辺環境とは言えない状況となっております。また、水路の一部に破損も見られることから、修繕と併せて、良好な状態に改善していきたいと思っております。今後の維持管理については、改めて、PTAをはじめとした団体と協議してまいりたいと考えています。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/YNYAvjH2vgc>



岩見 博 議員
(日本共産党)

市民アンケートで子育て世代の6割が 子ども医療費窓口無料化を求めている

来年度後半に窓口負担ゼロに

Q 私がやっている市民アンケートに、30代会社員の方は「住みやすいまちの評判で移住しましたが、実際に住んで子育てを始めると、子ども医療費、保育料の負担等で白山市やかほく市に劣っているように思えます」と声を寄せている。アンケートで、子育て世代の6割が窓口無料化を求めている。市民の声を真摯に受け止め、窓口負担を無料にするよう求める。

A 市長 ● 令和5年度の後半に完全無償化に向け、準備を進めていきたい。

Q 学校給食費の無償化
岸田首相も「無償化は、自治体の判断すべきもの」と答弁

Q 6月議会の質問で、教育長は、「学校給食法の規定により、学校の設置者と保護者のそれぞれの分担とされている」と答弁しているが、日本共産党の小池晃書記局長の代表質問に、岸田首相は、「保護者が負担する学校給食費を、自治体が補助することを妨げるものではない」「無償化については、自治体において適切に判断すべきもの」と答弁し、政府の学校給食法方の解釈

は一貫している。政府の答弁内容を確認しているか。

A 教育長 ● 岸田首相や政府答弁は承知している。

Q 自治体の判断で無償化することができると理解してよいか。

A 教育長 ● それぞれの自治体が政策判断され、実施できると承知している。

Q 私がやっている市民アンケートで、子育て世帯の55%が学校給食の無償化を求めている。市民の声をしっかり受け止め、無償化に踏み出すよう求める。

A 教育長 ● 大きな財政負担となることから、慎重な対応が必要と思っている。

Q スクールバス路線の除雪を一次路線に格上げを。

A 建設部長 ● 二次路線について、地元の町内会から御意見があれば、そいつは対応できる。

Q つばきの郷公園の砂飛散防止対策を

Q 市民アンケートに、つばきの郷公園に隣接する住宅に住んでおられる方から、「遊具周りの芝生がなくなり砂が飛んで来るので窓が開けられない。人工芝部分を増やして砂がむき出しの状態をなくしてほしい」という要望が届いている。ただちに人工芝を張る手立てを講じるべきではないか。

A 建設部長 ● 国の交付金の活用などを含め、適切な対応を検討している。

Q 砂がむき出し状態のつばきの郷公園

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、https://youtu.be/_E6rxYHWdtM

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野 智恵子 議員
(みのりの会)

多様な児童生徒、誰一人取り残さず ケアサポートできるよう支援強化を

学校の内外で生涯にわたってあらゆる機会、
場所において学習できる環境づくりに努める

- 多様性を尊重する
学校生活を送るために**
- 不登校の児童生徒のケアサ
ポート体制について**
- Q** 本市小中学校における不登校の児童生徒の推移を伺う。
- A 教育部長** ●不登校の小学生は令和元年度の40人から令和3年度が69人に、同じく中学生は令和元年度の50人から令和3年度が72人と年々増加している。
- Q** 不登校児童生徒のオンライン授業の環境は整っているのか伺う。
- A 教育部長** ●オンライン授業の環境は整っている。
- Q** 校内派遣教育相談員の加配を積極的に行うべき。
- A 教育部長** ●教育センターの先生方、県教育委員会と連携しながら拡充を求めている。
- Q** 野々市市教育センターふれあい教室では、個別の状況に対応できるスペース確保と人員の充実を図る必要があると考えるが本市の見解は。

- A 教育長** ●不登校児童生徒数は全国的にも増加傾向にあり、本市においてもその傾向は変わらない。学校外受入施設として、教育センターふれあい教室があり、通学生は年々増加しており、今年度は既にこれまでの通室生の人数をはるかに超える状況である。児童生徒が安心して過ごせる個室の整備や、個別に対応するための人員の確保に努める。
- 包括的性教育と教育指針について**
- Q** 生命(いのち)の安全教育に加え、包括的性教育も取り入れて性への理解を深めていくべきと考える。
- A 教育長** ●SDGsの考え方と同様に課題や目標は相互に関連することから、包括的解決に導くための指針を設定するスタンスは理解している。本市中学校ではゲストティーチャーを招聘し、講演会の開催など生徒の発達の段階に合わせた適切な指導機会を設け、思春期にある生徒が性に関する相談を行うことができるよう、養護教諭中心となり教育相談体制の充実

- にも努めている。国が推し進める生命の安全教育の教材等を効果的に活用し、各校の実情に合わせて段階的に取り組んでまいりたい。
- ジェンダーレス制服の導入について**
- Q** 野々市中学校のセーラー服にスラックスを導入された経緯と評価、生徒の反応を伺う。ジェンダーレス制服の導入と今後の展望について本市の見解を伺う。
- A 教育長** ●令和4年度に入ってから生徒が教員に相談したことがきっかけで、教員内での情報共有と対応案の策定、7月のPTAの会合で協議を経て、決定した。生徒教師間の信頼関係が構築され教育相談体制が機能していたこと、周囲の生徒の受け止め方が人権配慮についての全体指導を行う場もあり、スムーズに導入が進んだ。令和4年10月に発表された「多様な性への理解の促進と支援のための野々市市職員・教職員ハンドブック」の周知と活用を校長会でも指示している。児童生徒に対するきめ細やかな対応について、さらに教職員の理解を促進してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/O1yg8xhxbYY>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



朝倉 雅三 議員
(野々市市フォーラム)

田んぼダム実証実験結果について 本市で実施を行うのか伺う

実証実験田においては有効性を確認
来年度実施に向け準備中

- Q** 田んぼダム実証実験結果について、田んぼダム対策をした田んぼと、対策を行なわなかった田んぼと比較結果について伺います。
- A 建設部長** ●「田んぼダム」は、水田などの農地に降った雨水を一時的に貯留しながら時間をかけて排水することにより、下流域における急激な増水を抑制する、流域治水対策です。本市での実施可能性を探るため、稲作中の6月中旬から、9月中旬までの3ヶ月間実証実験を行ないました。実施に当たっては、対策をしない田んぼには、口径100mm排水口、対策をした田んぼには口径50mm、または50mm相当の断面とした排水口で排水量を抑制して、水田の水位や稲、畦などの状況を観測してまいりました。8月4日の豪雨では、田んぼダム対策を田んぼに、周囲から降雨以外の水が流入する状況になったため、降雨量に対する田面の水位変動が観測できませんでした。排水抑制には効果があったと思っております。8月20日の強い降雨の時には、40分間で田面の水位が36mm上昇した後に、6時間かけて排出されたことを観測いたし

ました。また、田んぼダム対策をしない田んぼと、対策をした田んぼの比較をしたところ、条件が悪い田んぼにおいても、水位のピーク時から1時間あたりの排水量で、約1立方メートルの排水抑制が確認できました。なお、当日に水位は下がり、稲や畦には影響はありませんでした。本市の水田面積は、165ヘクタールで、本市全体の面積に対して12%を占めております。例えば、田んぼ一枚800平方メートルで換算しますと、約2千枚となり、その全てで「田んぼダム」を実施した場合、条件が悪くても、1時間あたり約2千立法メートルの排水抑制になります。一般の25メートルプールで換算いたしますと、約6杯分に相当します。今回の実証実験を通して、本市には用排水の形態から、効果が顕著に現れる田んぼと、効果が低い田んぼが存在すること、効果を求めすぎると、排水口のゴミ詰まり解消など、耕作者に管理の負担が発生することなどから、実施に当たっては、耕作者のご理解・ご協力が特に重要になることを、改めて認識した次第です。「田んぼダム」は、田んぼごとに抑制水量に違いがあることや、中干し



- などの期間は貯留できないなどの制約もありますが、田んぼ一枚ごとの抑制水量はわずかでも、多くの箇所を実施することにより、効果が期待できるものと思っております。今後は、「田んぼダム」の実施に向け、農地所有者や耕作者のご理解・ご協力をいただけるよう、準備を進めてまいりたいと考えております。
- Q** 田んぼダム協力農家への協力金もしくは資材購入協力金について伺います。
- A 建設部長** ●田んぼダム対策への資材購入費などの支援につきましては、現在検討しているところでございますので、準備ができましたら、農地の所有者や耕作者の皆様へ、ご案内してまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/GeTy3eh_abU

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



土田 友雄 議員
(市政委員会)

市民協働を打ち出した栗市長を高く評価する 5期目に向けてどのような市政を目指すのか

引き続き「市民協働のまちづくり」を推し進め 「住みよい野々市市」を皆様と作り上げたい

- これから市政について**
- Q** 数々の施策の中で、特に市民協働を打ち出した栗市長を高く評価する。5期目に向けてどのような市政を目指すのか。
- A 市長** ●行政と市民が手を取り合い、魅力と輝きがあふれる「住みよい野々市市」を市民の皆様とともに作り上げていきたい。
- 交流人口について**
- Q** 交流人口を大きくすることは本市の魅力と活力を大きくすることにつながるため市から号令をかけていただきたい。
- A 副市長** ●野々市の様々な地域資源を有効に活用しながら、「野々市ファンの拡大」に全力で取り組んでいきたい。
- 今後の教育について**
- Q** 二期目となる教育長はどのような教育を提言するのか。
- A 教育長** ●「地域とともにある学校づくり」を進めるとともに、生涯学習やスポーツ・文化芸術などを楽しみながら、生きがいや心の豊かさを実感できる「まち」をめざす。

- Q** 歯科医を招いて歯の大切さを指導してはどうか。
- A 教育部長** ●毎年検診を行い、保護者にも啓発している。
- Q** デジタル教育の進捗状況について伺う。
- A 教育部長** ●計画を策定し確実に進め、サポート体制の充実に努めたい。
- 高齢者を元気に**
- Q** 高齢者用の遊具の普及など体づくりもあると思うが、考えを問う。
- A 市長** ●高齢者が元気で活躍するため食事方法の教室を開催するなど啓発に努めている。
- 省エネ住宅について**
- Q** 省エネ住宅の建築促進やソーラー発電設置について本市はどのように取り扱うのか。
- A 地域政策部長** ●持続可能な社会の実現のため、省エネ住宅などの普及促進を考えていきたい。
- 農業政策について**
- Q** 補助金を受けるための分かりやすい指針等、農業者に寄り添い農業を魅力的な産業に。
- A 建設部長** ●補助制度について分かりやすくまとめる等、農業者の声に寄り添い農業が魅力的な産業として継続するよう努めたい。

- 人を育てる、人を活かす**
- Q** 野々市のあらゆる職業に就業する新入社員を市として歓迎し、夢を持って働いてもらう式典を行うってはどうか。
- A 副市長** ●新型コロナウイルス流行前には市商工会が会員交流会を開催していた。歓迎式等を含めたさらなる交流の場の持ち方については、関係団体とも相談していきたい。
- 地域政策について**
- Q** 市の仲介で各事業所の連携を図ってはどうか。うまくいけば特産品が生まれ、事業所の業績が上がるれば税収も上がると考える。
- A 市長** ●今年は事業所訪問や市商工会との意見交換を行った。今年初開催のマルシェは新たな連携を生み出す機会となっており好評である。今後も地域経済の発展に繋がる取り組みの実施に努めたい。



西本 政之 議員
(令和清栄)

こども医療費窓口負担を無料化せよ

令和5年10月を目処に完全無料化を実施したい

- Q** 本市のこども医療費助成制度は通院の場合一医療機関1回につき500円、一か月1000円を上限に保護者から窓口で負担していただいている。令和5年4月から津幡町が実施するので、県内では本市と金沢市のみが、こども医療費完全無料化を実施していない自治体となる。本市においても無料化に踏み切るべきと考えるがいかがか。
- A 市長** ●システムの改修や医療機関への周知、受給資格証の差し替えといった作業が必要となるので、令和5年10月を目処に自己負担の完全無償化を実施したいと考えている。
- 教育職員の時間外勤務上限規制について**
- Q** 教職員の超過勤務の上限の目安を「月45時間、年360時間以内」とすることが、令和3年4月に本市の学校管理規則に明記された。実際は多くの職員が達成できていない。時間外勤務上限を遵守するために更なる努力と思いつた改革が必要と考えるがいかがか。

- A 教育長** ●平成29年度の市内教職員の平均時間外勤務が59時間30分程度だったものが、令和3年度は45時間余りと、短縮はできているが、45時間を超えている教職員が相当いることは指摘の通りだ。引き続き、全教職員の時間外勤務が、規則に定めた月45時間以内になるよう、今後も努力していきたい。
- Q** 時間外業務の多くは、いじめ対応、保護者対応にあると聞いた。不登校や保護者の対応を軽減するために専門員を配置したり、研修の数を減らすなど、思い切った業務の効率化、スリム化が必要と考えるがいかがか。
- A 教育長** ●本来であれば、子ども達が下校した後は、学年会や教育委員会等を行い、十分な教材研究と授業の準備し、翌日に備えることが理想であるが、不登校児童生徒、友達同士のトラブル、保護者からの問い合わせの対応に、放課後の多くの時間を費やしていることも事実である。これらの対応をする専門の職員の配置は負担軽減に有効と思われるので、今後、県への加配の要望も含めて検討したい。

- Q** 現在、各学校では欠員状態が続いていると聞いた。せめて、欠員解消だけでも早急に対応すべきではないか。
- A 教育長** ●県教育委員会からも、代替講師の確保が難しいと聞いている。県教育委員会と連携を深めながら、欠員を埋める努力を今後も続けていく。
- 都市計画道路「堀内―上林線」について**
- Q** 下林西交差点から中林四丁目交差点の区間の拡幅工事については、歩道が無く危険である等の理由から、地域住民から根強く要望がある。そろそろ具体的な時期にきていると考えるがいかがか。
- A 市長** ●国道157号と加賀産業開発道路を結ぶ重要な幹線道路であり、整備の必要性を十分認識している。都市計画道路「高尾―郷線」「野々市中央公園西線」の整備の進捗状況を踏まえ、「堀内―上林線」の拡張整備の事業化に向け、国や県への交付金などの要望を積極的に行っていく。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/dATyJgF93EU>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/BCjPY6P0mxg>

一般質問のページは、各議員の

文責により編集されています。



馬場 弘勝 議員
(野々市フォーラム)

コンベンションホテル誘致による地域活性化

Q 本市内へのホテル進出に関する問い合わせ状況と、具体的な検討に至らなかった理由は何か。また、企業立地促進助成制度が使われなければ、制度のある意味が失われる。助成金額や要件等、制度の内容を見直すべきではないか。

A 市長 ● これまでに幾つかの問い合わせがあり、その都度、企業側との面談や意見交換を行ってきた。企業側からは、車での来訪を想定した立地場所の選定や、駐車場を含めた大規模な用地の確保に時間を要すること、また、助成の要件である300㎡以上の会議室等の設置が、採算性の観点から難しいといった意見などを伺っている。ホテルの誘致は、観光やビジネスを通じて、本市への来訪者の増加に繋がるほか、飲食業やサービス業など関連業種の進出や、地元雇用の拡大など、多方面にわたり大きな経済効果があると考えており、粘り強く誘致に努めていく。また、市の企業立地促進助成制度の見直しについても、検討していきたい。

市営墓地公園の今後

「企業立地促進助成制度」
(コンベンション機能を有するホテル)

[助成額] 投資総額の20%以内、最大2億円
[雇用助成] 市内在住の方を新規に雇用した場合、一人につき50万円、最大2,500万円
[助成要件] 客室の数：100室以上
会議室か宴会場：300㎡以上

Q 計画の当初、中林地区と西部中央地区の2箇所の用地を整備対象としていたが、現在の中林地区1箇所のみに、将来の墓地の需要に対して、許可可能なのか。

A 市長 ● 中林地区の「メモリアルパークのいち」において整備する一般墓は、将来的には概ね3000区画まで拡張することが可能である。また、合葬墓には施設型、樹林型を合わせると、7000体を超える遺骨の収容が可能となっており、今後20年における墓地の需要については、中林地区で整備した墓地公園で賄えるものと考えている。西部中央地区の用地においては、公共施設用地として、野々市中央公園拡張整備事業のエリアに組み込み、全体を公園として整備する計画に見直したいと考えている。

北陸鉄道石川線の存続の危機

Q 市民の生活、特に通勤通学で利用する高年齢者が大きな影響を受ける石川線の存続の危機について、本市の考え方をしっかりと明示し、事業継続を主張すべきである。また、利用促進へ向けた様々な実証実験を提言すべきではないか。

A 副市長 ● 石川中央都市圏域で、関連する市町と連携しながら公共交通をしっかりと支えていくために、市としても更なる財政支援が必要と考えている。また、沿線各駅から香林坊まで、乗り降りが自由で割安なデジタル乗車券を活用した乗継円滑化実験にも着手しているが、更に需要増加に繋がるようなことがあれば、協議会へ提案をしていきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、https://youtu.be/b9oA_rd9W20

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

土田友雄議員に対して議員辞職を勧告

令和4年第5回10月臨時会で、「土田友雄議員に対する議員辞職勧告決議案」が出されました。決議案は、退席した議員を除く議員全員の賛成により可決され、辞職勧告を決議しました。

●土田友雄議員に対する議員辞職勧告決議文

我々野々市市議会議員は、市民から負託を受けた者として、その立場と職責の重さを深く自覚し、法令、条例を遵守し、高い倫理観と識見をもって、市政の発展と住民福祉の向上に努めなければならない。

しかしながら、令和4年10月20日に開催された野々市市議会議員規律協議会の場において、去る令和4年10月8日夜、土田友雄議員は新型コロナウイルスに感染し、自宅療養期間中であるにもかかわらず、野々市市下林地内の下林秋祭り前夜祭に出席し、屋外特設ステージから素手で「餅まき」という行為を来場者の前で行ったという事実が判明した。

自宅療養期間中、公務を欠席しながら、私的行事に外出・出席し、その振る舞われた行動は、市民から決して理解の得られる事ではない。また、「餅まき」はその品物を第三者が拾われて、そのまま自宅に持ち帰ることが極めて多く、感染拡大を助長する行為であり、自宅療養期間中の感染陽性者が振る舞う行動とは到底理解し難く、公人として著しく不適切であると認めざるを得ない。

野々市市議会議員政治倫理条例第2条第1項において、議員は「市民全体の奉仕者として品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑をもたれるおそれの行為をしないこと」と政治倫理基準を遵守しなければならないとしている。

現在も新型コロナウイルス感染症の治療や療養

期間中に自宅待機をなされている方々、感染症対策を講じられている方々にとって、決して受け入れられる事ではない。また、議員総会・議会運営委員会・議員規律協議会の場で土田友雄議員に対し、事実確認を行ったが、答弁を重ねるにつれて内容も変わり、答弁内容に正確性を欠き、一部で次々と虚偽に虚偽を重ねていることが判明した。何度も弁明の機会があったにもかかわらず、反省の弁明は全く無く、その行為に対する見識が著しく欠落している事も判明した。

このことは、公人としての市議会議員という立場からして、著しく不適切な行動であると言わなければならない。私的な行為であったとしても、そのことによる自らの責任は免れるものではない。全国民が新型コロナウイルス感染症の拡大防止と収束に向け、懸命な努力と協力を行っている中での今回の行為は、利己的で秩序を乱す行為で看過出来るものではない。

議会運営委員会は慎重に審査を行い、議員規律協議会の結論を重く受け止め、全員一致をもって「議員辞職の勧告をすべきもの」と決定した。

よって、野々市市議会は土田友雄議員に対して、明らかとなった事態の重大さから、速やかに自ら野々市市議会議員の職を辞するよう勧告するものである。

以上、野々市市議会として、土田友雄議員の議員辞職勧告を決議する。

令和4年10月21日 石川県野々市市議会

市民の皆様へ

今任期中の梅野智恵子議員3回、土田友雄議員1回、計4回の議員辞職勧告決議案が決議されたことについて大変遺憾に思います。決議にあたっては議会内で議論を尽くした結果であり大変重いものであります。しかしながら市民の皆様に対して市議会議長として議会議員による不祥事に対して議会の代表として深くお詫び申し上げます。今後は議員一丸となって信頼回復に努める所存でございます。市民に寄り添い、野々市市の発展に寄与する議会を創っていくことをお誓いいたします。

野々市市議会議長 中村義彦

北朝鮮によるミサイル 発射及び核開発に抗議 する決議

今年に入り、北朝鮮は過去にない頻度で弾道ミサイルの発射を繰り返している。このうち10月4日に発射された弾道ミサイルは我が国の上空を通過し、太平洋沖に落下したとみられているほか、これまで複数回、ミサイルが我が国の排他的経済水域（ＥＥＺ）内に落下したと見られており、これらは、我が国の国民の生命や安全・安心を著しく脅かすあるまじき凶行である。

北朝鮮による一連のミサイル発射は、国連安全保障理事会決議に明らかに違反しており、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙である。本県漁業関係者をはじめとする船舶や航空機の安全確保の観点からも、極めて危険な行為であるとともに、我が国の安全保障に対する直接的かつ重大な脅威であり、断じて容認できない。

よって、本野々市市議会は、北朝鮮に対し、厳重な抗議と強い非難の意を表明するとともに、弾道ミサイル発射及び核

開発をただちに中止するよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年12月12日

石川県野々市市議会

採択された意見書

知的障がい者・知的障がい行政 の国の対応拡充を求める意見書

政府に対して、国際的な知的障がいの定義や、自治体の負担等も踏まえた判定方法や基準の在り方の検討を踏まえ、知的障がい行政・手帳制度を、国の法律による全国共通の施策として展開することを強く求める。

带状疱疹ワクチンへの助成並び に定期接種化を求める意見書

政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

3月定例会の予定

会期：2月22日(水)～3月20日(月) (27日間)



日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22 午前10時～ 本会議 開会	23	24	25
26	27	28	3/1	2 午前10時～ 本会議 一般質問	3 午前10時～ 本会議 一般質問	4
5	6	7 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	8 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	9 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	10	11
12	13 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	14 午前10時～ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後2時～ 議会改革・活性化特 別委員会	15 午前10時～ 予算決算常任委員会	16	17	18
19	20 午後2時～ 本会議 閉会	21	22	23	24	25